

令和元年度



蓮田市生活支援体制整備事業 実施報告

&

生活支援コーディネーター 活動報告

蓮田市

生活支援体制整備事業の実施経過について

団塊の世代が75歳以上になる2025年には、一人暮らし高齢者、高齢者夫婦のみの世帯が急増することが予想されています。

そのための取り組みとして、平成26年度の介護保険法改正に伴い、平成29年4月から新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」が開始されています。

総合事業は

住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することにより、地域の支えあいの体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援などを可能とすることをめざすものです。

高齢者が介護予防に取り組み、地域の中で生きがいや役割を持つことができる地域づくりをめざしていきます。

生活支援体制整備事業は

「高齢者が健康で安心して暮らせるまちづくり」を基本理念としている蓮田市高齢者福祉計画2018・第7期介護保険事業計画で位置付けられています。

具体的には、生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」の配置など、多様な生活支援・介護予防サービスが利用できるような地域づくりを蓮田市が支援し強化を図ります。

事業の実施にあたっては

蓮田市が実施主体となり、事業の一部を蓮田市社会福祉協議会に委託して推進しています。平成28年度より、蓮田市全体の支え合いを推進する第1層生活支援コーディネーターを配置しました。

令和元年4月からは、第1層生活支援コーディネーターの設置に加え、第2層圏域（中学校区）の協議体や地域活動等を支援する第2層生活支援コーディネーターを配置しました。

なお、蓮田市では第1層協議体を蓮田市協議体、第2層協議体を地区協議体と呼称しています。



出典：平成28年3月 地域包括ケア研究会報告書より

咲かそう、地域包括ケアの花！

令和元年度 生活支援体制整備事業 (生活支援コーディネーター) について

1. 事業目的

日常生活上の支援を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくためには、多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築が必要となります。地域の特性を踏まえた必要なサービスの創出や、提供するサービスのコーディネート機能、サービスを提供する事業主体と連携して生活支援体制の充実・強化を図ることを目的として、生活支援体制整備事業を実施します。

2. 業務内容

- (1) 蓮田市生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置・運営
- (2) 地区生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置・運営

3. 生活支援コーディネーター及び協議体の取組

- (1) 生活支援の担い手の養成
- (2) サービスの開発等の資源開発
- (3) サービスの提供主体等の関係者のネットワーク構築
- (4) 地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動マッチング



4. 取組に基づく目標

- (1) 生活支援の担い手の養成

○地域を担う人を育てます

- ・地域に関心を持ち活動できる人材を育成し、活動を継続できるように支援します
- ・多世代の担い手育成を図ります

- (2) サービスの開発等の資源開発

○利用しやすい福祉サービスのしくみをつくります

- ・蓮田市生活支援コーディネーターと地区生活支援コーディネーターが連携し、地域活動を支援します
- ・地区協議体を市内全地区で立上げ、地域活動を検討しサービス開発等の資源開発につなげます

- (3) サービスの提供主体等の関係者のネットワーク構築

○助け合い、支え合いの輪を広げ、地域の絆を深めます

- ・多様な団体等と連携し、関係者間の情報共有、意見交換により相互理解を深め、地域コミュニティの充実を図ります

- (4) 地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動マッチング

○必要な情報を得られ、気軽に相談できるしくみをつくります

- ・生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーターと協議体)の活動を周知し、情報提供と相談体制の充実を図ります
- ・支援ニーズや生活課題を地域の社会資源や地域活動につなげます

令和元年度 生活支援体制整備事業 (生活支援コーディネーター) 年次報告

取組に基づく目標

(1) 生活支援の担い手の養成

○地域を担う人を育てます

- ・地域に関心を持ち活動できる人材を育成し、活動を継続できるように支援します
- ・多世代の担い手育成を図ります

取組の内容

1. 生活支援担い手養成講座の開催

①地域ボランティア講座(全3回)の開催 5/8(水)～6/5(水)

参加・修了者7人 / 男性1人、女性6人 / 平均年齢65.2才

(内容)

第1回「聞いて納得！私たちのまちづくり」

蓮田市と社会福祉協議会、高齢者福祉の現状について

第2回「知って納得！社協のこと 活動のこと」

地域を支える社協の活動紹介とボランティア実践者の報告
～体験実習～

第3回「話して納得！これからの地域活動」(振り返り会)

(修了者の状況)

ボランティア活動への参加

布の絵本さくらんぼ文庫登録、活動開始 1人

傾聴グループ登録、活動開始 1人

夏のボランティア体験2019(おはなしボランティア)への参加 1人

ひとり暮らし高齢者等見守り事業協力員として活動開始 4人

はすだ地域支えあいサービス事業協賛会員として活動開始 4人

②地域ボランティア講座修了者等へのアフターフォロー

- ・活動の場の提供、活動状況の把握、活動への支援

子どもの学習支援事業(アスポート事業)の情報提供、協力活動への支援

- ・地域ボランティアフォローアップ研修の開催

3/3(火)「災害ボランティア講座」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



ボランティア実践者の報告

【地域ボランティア講座参加者の声】

☆ボランティアの本当の意味を考えた

☆地域全体で助け合って生きていきたい、世代を超えて双方で支え合いが出来たらいい

☆男性は何ができるのか、いろんな世代を巻き込みたい、年代を問わないふれあいの場があるといい

☆また来てねと言われて活動が楽しいと思った、自分の生活を守りながら活動を続けていきたい

☆ボランティア活動のいきがいを感じた、身近な人とのふれあいが大事



2. 生活支援サービス従事者養成研修の開催

①第1回 参加者7人 / 男性1人、女性6人

12/6(金) 認知症サポーター養成講座

12/10(火) 生活支援体制整備事業紹介、高齢者疑似体験等

②第2回 参加者5人 / 男性3人、女性2人

2/14(金) 生活支援体制整備事業紹介、高齢者疑似体験等

3. 各種ボランティア養成講座開催への協力

・夏のボランティア体験&サマースクール2019 全15講座 参加者141人

・点訳ボランティア養成講座(全6回)9/3(火)～10/8(火) 参加者3人

・アートクラブ体験講座(全2回)11/19(火)、11/26(火) 参加者4人

・福祉教育への協力

市内の小中高等学校14校での福祉体験学習への支援

生活支援サービス従事者養成研修
高齢者疑似体験の様子



アートクラブ体験講座



振り返り

①地域ボランティア講座参加者の年代は30～70代と幅広く、受講の意欲は高く出席率100%、先輩ボランティアのサポートもあり、全員が活動につながりました。地域ボランティア講座修了後、夏のボランティア体験&サマースクール2019への参加、協力団体のメンバーとして活躍しています。さらに、ボランティアグループ連絡協議会で紹介した子どもの学習支援事業(アスポート事業)の学習支援や生活指導等へ活動を広げています。

②生活支援サービス従事者養成研修の高齢者疑似体験では、参加者から「支援するにあたって気を付けることはいろいろあると知った」「高齢者の気持ちや病気のひとのものの見え方がわかった」との感想が聞かれ、活動への関心、意欲の高さが伺えました。

③退任した民生委員・児童委員へ地域活動への参加をすすめたところ、知識経験等を生かした意欲的なボランティア活動につながっています。

④夏のボランティア体験&サマースクール2019(蓮田市社会福祉協議会開催)には約140人の参加があり、小学生から高校生、成人までの多世代にわたる参加があり、ボランティアグループ、市内社会福祉法人等も積極的に協力しています。

⑤福祉教育への協力では、ボランティアグループ、市内社会福祉法人、障がい者団体等と取り組んでいますが、ボランティアの高齢化がすすみ、負担も大きくなっています。中学校地区で協議体が設置されていることから連携等も検討しています。

取組に基づく目標

(2) サービスの開発等の資源開発

○利用しやすい福祉サービスのしくみをつくります

- ・蓮田市生活支援コーディネーターと地区生活支援コーディネーターが連携し、地域活動を支援します
- ・地区協議体を市内全地区で立上げ、地域活動を検討しサービス開発等の資源開発につなげます

取組の内容

1. 蓮田市全域でのサービス開発

①地域サービスの把握、必要なサービスの検討

ボランティアや地域活動等に関する相談対応、活動に必要な保険や助成金等の情報提供、サロン等の地域活動立ち上げの支援

(10月には桜ヶ丘いきいきサロンが、1月には根金ふれあいサロンが開設)

②地域活動等の把握及び支援

【介護保険に関する事業】

- ・我が家のくらしとシゴトバディうるひら内覧会
- ・はすカフェ、吾亦紅オレンジカフェ訪問

【地域の文化祭】

- ・椿山、桜台文化村の文化祭を訪問

【ミニデイサービス、ふれあい・いきいきサロン、ボランティア活動等】

- ・デイサービスブルーミングケア／蓮華会(三味線等音楽ボランティアグループ)活動
- ・青年学級ふれあい会／マジックボランティア活動、吾亦紅／将棋ボランティア活動
- ・ふれあいサロン馬込第1訪問／お話し会(民話、紙芝居、絵本読みきかせ)活動
- ・見沼ミニデイサービス訪問／南京玉すだれボランティア活動
- ・駅前団地健康倶楽部訪問／薬樹薬局講座
- ・上関戸いきいきサロン会訪問／ギターアンサンブルもみじ演奏(ボランティアグループ)

【その他】

- ・支え愛西新宿代表との活動について打合せ
- ・老人福祉センター訪問／蓮田市消費者被害防止サポーター養成講座見学
- ・サロンペンギン訪問(精神障がい者とその家族のためのサロン活動)

〔 ふれあい・いきいきサロン 〕

〔 特技ボランティア・南京玉すだれ 〕



2. 第1層協議体の開催

①5/21(火)第1回蓮田市協議体

「第2層協議体、第2層生活支援コーディネーター設置について」

「第2層協議体の役割と設置」(埼玉県社会福祉協議会生活支援アドバイザー講義)

「配達・訪問サービス便利帳」の配布状況について(報告)

②9/30(月)第2回蓮田市・地区協議体合同の講演会～協議体メンバーの集い～

・講演会 協議体で進める「お互いさまの地域づくり」

講師 ルーテル学院大学 学長 市川 一宏 氏

・参加者69人 (内訳) 蓮田市協議体9人、地区協議体45人、関係各課・埼玉県社会福祉協議会等職員15人

③10/18(金)第3回蓮田市協議体

・地区協議体の設置と進捗状況について報告

④3/25(水)第4回蓮田市協議体

・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

～協議体メンバーの集い～
講演会 協議体で進める「お互いさまの地域づくり」
講師 ルーテル学院大学 学長 市川 一宏 氏



【協議体メンバーの感想】

- 人の役に立てる、役立ちたいと今日の講演を聴いて力をいただきました
- 私たちのサロン活動も次世代の人たちを育てないといけない
- 現状を嘆くのみではなくて、それぞれの地域に合った方法を考えていくことが大事
- 本日のキーワード「いま」「あるもの」を生かすこと・・・これを学びました
- 今までは障がい、高齢、子どもを分けて考えていたが、一緒に考えることで協議体として何ができるかがわかってくるのではないかと
- 地域社会において高齢になってもそこで暮らしていける環境を考えなくてはならない
- 一歩踏み出し継続が大事と痛感しました。やる相手は何をしたいのか、 相手を知ること大事

3. 地区協議体の設置支援

- ①民生委員、自治会長、社会福祉施設、老人クラブ会長等との地区協議体立上げメンバー選出に向けた準備
- ②地区協議体準備会(推薦会)開催
 - ・6/27(木)蓮田中学校地区協議体メンバー推薦会の開催
 - ・7/1(月)黒浜西中学校地区協議体メンバー推薦会の開催
 - ・7/2(火)蓮田南中学校地区協議体メンバー推薦会の開催
 - ・7/9(火)平野中学校地区協議体メンバー推薦会の開催
 - ・7/10(水)黒浜中学校地区協議体メンバー推薦会の開催
- ③推薦された地区協議体メンバーへの参画依頼、第1回各地区協議体開催通知の送付

4. 生活支援コーディネーターの設置

- ①蓮田市及び地区生活支援コーディネーター間の定例打合せの実施
 - ・各地区協議体内容報告、進捗状況の確認
 - ・埼玉県社会福祉協議会等による研修会の振り回り
 - ・地区ごとの社会調査や課題分析等の話しあい、協議体開催に向けての準備
- ②埼玉県生活支援アドバイザー参加による生活支援コーディネーター連絡会の開催
- ③研修等への参加
 - 埼玉県社会福祉協議会主催
 - ・第2回生活支援コーディネーター研修
 - ・話し方・折衝・交渉力向上研修
 - ・住民主体を促す、話し合いをよりよくするためのファシリテーションについて
 - ・市町村担当職員及び生活支援コーディネーター合同研修
「多様な関係者・施策と協働した地域の支え合い推進」
「地域ケア会議と連動した生活支援体制整備の促進」
 - ・第2層協議体運営に関わるポイント、実践報告、情報交換
 - 埼玉県主催「包括的支援体制における相談対応能力研修」
 - 埼玉県キャラバンメイト養成研修

5. 情報発信

- ①ホームページでの事業紹介
- ②生活支援体制整備事業
生活支援コーディネーターだよりの発行
- ③地区協議体&生活支援ニュースレターの発行
- ④「配達・訪問サービス便利帳」の配布
 - ・ふれあい・いきいきサロン
介護者会「シルク会」
介護支援専門員連絡会での周知配付
 - ・地域包括ケアシステム推進代表者会議
を通じた市内医療機関70ヶ所への送付
（「集いの場・通いの場マップ」同封）



振り返り

- ①地区協議体推薦メンバーへの事業説明、日程調整等を行い、6～7月に全5地区での地区協議体メンバー推薦会を開催、地区協議体メンバーが選出され、円滑な5地区の協議体立上げにつながりました。
- ②地区協議体を立ち上げた段階での講演会～協議体メンバーの集い～開催により市、地区全体としての顔合わせ、メンバー間共通の事業理解を深められました。今後の運営、活動へのプロセス構築につながりました。
- ③地区生活支援コーディネーターが地区協議体立上げ、講演会開催に向けて、地区ごとの社会調査、分析等を行い、理解を深め、生活支援コーディネーター間で連携して事業を進めました。
- ④「配達・訪問サービス便利帳」等をホームページ掲載をはじめ、広く周知しました。
医療機関にマップを配布した結果、ふれあい・いきいきサロンの参加につながった例もありました。
- ⑤サービス開発の一環として参加したサロン連絡会では、埼玉県社会福祉協議会地域連携課職員の講話でサロンを居場所とする生活支援活動への広がり等が提示されました。活動における引きこもりや孤立支援の視点、見守りや声掛け活動等の取り組みも必要となっています。
また、サロンペンギン等の訪問を通じ、高齢化は障がいのある家族にも進んでいるとの声もあり、地域での障がい者も一緒に居場所づくりが必要となっています。

ふれあい・いきいきサロン連絡会
埼玉県社会福祉協議会による講義



取組に基づく目標

(3) サービスの提供主体等の関係者のネットワーク構築

○助け合い、支え合いの輪を広げ、地域の絆を深めます

- ・多様な団体等と連携し、関係者間の情報共有、意見交換により相互理解を深め、地域コミュニティの充実を図ります

取組の内容

1. 地区懇談会(勉強会)への参加、運営支援

- ・「はすっこ食堂」総会、民生委員・児童委員地区会長連絡会への出席
- ・平野地区こども夏まつり、はすだスポーツフェスタでの車いす体験、介助法指導
- ・蓮田市防災訓練、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練に参加
- ・各地区の地域敬老会への出席
- ・サロン等でのクリスマス会、もちつき大会への訪問

〔 車いす体験、介助法指導の様子 〕



〔 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 〕



2. 生活支援サービス等に関連する団体等の会議への出席

各団体等との連携、情報共有

- ・在宅医療・介護関係者連携会議
- ・はすだ地域支えあいサービス事業連絡会
- ・社会福祉法人連絡協議会
- ・埼玉県社会福祉協議会主催「生活支援体制整備事業東部ブロック連絡会」
- ・埼玉県社会福祉協議会主催「生活支援体制整備事業意見交換会」
- ・埼玉県主催「地域支え合いの仕組み実施団体全体会議」
- ・埼玉県立大学主催「地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議・団地の取組み」

3. 関係機関との連携

①情報交換

- ・蓮田市青年会議所所属橋本フラワーセラピストとの子ども大学開催について
- ・東埼玉病院院長、療育訓練室室長とのボランティアニーズ等について

②会議等

- ・蓮田市高齢者見守り支援ネットワーク会議 講演「8050」問題を考える～地域の人たちができること～
- ・精神保健福祉関係者連絡会
- ・地域包括ケア推進代表者会議

③蓮田市社会福祉協議会(受託者)と打合せ

- ・前月の振り返り、当月の計画確認
- ・第1層協議体を蓮田市協議体、第2層協議体を地区協議体と呼称決定
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い2月、3月の地区協議体の開催を協議し中止決定

振り返り

○多様な懇談会に参加することで関係者とのネットワークを広げ地域資源開発の基盤づくり、情報を得ることができました。会議や連絡会等を通じて、民間事業者、障がい者支援関係者等も地域包括ケアシステム、地域づくりへの関心の高さが伺えました。

・地域包括ケア推進代表者会議では、生活支援体制整備事業ならびに地区協議体の状況について報告、市内の病院や薬局等への「集いの場・通いの場マップ」「配達・訪問サービス便利帳」の配付、学校との連携、ボランティアスタンプの取り組み等の意見がありました。

・蓮田市社会福祉協議会では社会福祉法人連絡協議会に参画、社会福祉法人が取り組む地域福祉活動、福祉教育等社会貢献活動に協力しています。

・はすだ地域支えあいサービス事業連絡会に参加、本人参加の支援の視点についての講義がありました。参加者はできないことを支援することの大切さを学びました。地域ボランティア講座参加者5人も参加し、活動者と交流することで、事業への参加意欲が高まりました。

地域支えあいサービス事業連絡会
指定居宅サービス事業所「えいじゅ」
多ヶ谷淑美氏による講義



・ボランティアグループ連絡協議会等に出席し「生活支援体制整備事業」を紹介し、地区協議体の活動への協力を依頼しました。

取組に基づく目標

(4) 地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動マッチング

- 必要な情報を得られ、気軽に相談できるしくみをつくります
 - ・生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーターと協議体）の活動を周知し、情報提供と相談体制の充実を図ります
 - ・支援ニーズや生活課題を地域の社会資源や地域活動につなげます

取組の内容

1. 生活支援体制整備事業の周知活動

- ① やさしいいききフェスティバルでの地域活動等の事業紹介
「集いの場・通いの場マップ」「配達・訪問サービス便利帳」の掲示
わたし、となり近所、蓮田のいいところを見つける「みんなの樹」づくり
終了後はふれあい福祉センター掲示板にて展示
- ② 各種連絡会議やサロン等の活動団体への訪問を通じた周知活動
社会福祉法人（蓮田園、ひので）、医療法人（蓮田よつば病院、ゆうゆう）での周知
ホームページ掲載内容を見直し更新

やさしいいききフェスティバル・みんなの樹

【わたし・となり近所・蓮田のいいところ】

- 🍏 字がきれいです、毎日草取り体力あり、笑顔
- 🍏 芥川龍之介の碑、西城沼公園、根金のひまわり畑、見沼代用水
- 🍏 自然が豊かで空気が美味しい、桜がきれい
元荒川がきれい、災害が少ない、梨が美味しい



2. 地域ケア会議への出席

- ① (自立支援型) 地域ケア会議への参加
多職種による、重度化予防と自立支援に向けた事例検討
- ② (課題抽出型) 地域ケア会議への参加
「配達・訪問サービス便利帳」の活用について

3. 地区協議体への運営支援

中学校区を圏域とした5地区の協議体には、民生委員や自治会関係者等のメンバーが参加
各地区の協議体には地区生活支援コーディネーターを設置し、運営を支援
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月、3月については中止

地区協議体の紹介と話し合った地区のいいところ



蓮田中学校地区協議体

「蓮田市はすぴい」

令和元年7月25日発足

メンバー16人ではじめています。

メンバーには吾亦紅、翔裕園の2つの社会福祉法人が参加しています。蓮田北小と蓮田中央小のブロックごとに話し合いがすすめられています。

♡パルシーやハストピアなどの公共施設があります。国の選択無形民俗文化財「式三番」は蓮田の貴重な伝統芸能です。



平野中学校地区協議体

令和元年8月2日発足

メンバー11人ではじめています。

「特別養護老人ホームひので」で開催しています。

メンバーには老人クラブ会員、福祉教育協力ボランティア、はすぴい元気体操フィットが参加しています。

♡映画「あの日のオルガン」の舞台となった妙楽寺、芥川龍之介の最も古い碑文、お獅子様の伝承と歴史が根付いています。



黒浜中学校地区協議体

令和元年8月9日発足

メンバー12人ではじめています。

メンバーには蓮田園、新聞配達店、郵便局等の参加があり、幅広いメンバーからさまざまな話題が広がっています。

♡東日本最大級の蓮田サービスエリアがあります。黒浜沼、江ヶ崎のコスモス畑、東埼玉病院脇の曼殊沙華と緑あふれる自然を守っています。





蓮田南中学校地区協議体

令和元年7月30日発足

メンバー12人ではじめています。
「蓮田よつば病院」で開催しています。
メンバーには病院の医療専門職、お寺の住職や地域で
広く活動しているボランティアが参加しています。

♡駅東口からは飲食店やスーパー、商店もあり、見沼代
用水路の遊歩道からは桜並木や田園が広がる街並みも
自然もある地区です。



黒浜西中学校地区協議体

令和元年7月31日発足

メンバー14人ではじめています。
メンバーにはケアタウンゆうゆうのケアマネジャー、サロンの
立上げや地域活動の経験者が参加しています。実際の活動
を通じた生の声が聞かれています。

♡元荒川沿いの桜から四季を感じられるなか、サロンや
サークル活動も活発、お祭りや文化祭も開催されて賑
やかです。



〔 地区協議体開催の経過 〕

	蓮田中学校地区	平野中学校地区	黒浜中学校地区	蓮田南中学校地区	黒浜西中学校地区
第1回	7月25日（木）	8月2日（金）	8月9日（金）	7月30日（火）	7月31日（水）
第2回	9月30日（月）協議体メンバーの集い				
第3回	11月13日（水）	11月6日（水）	11月19日（火）	11月26日（火）	11月14日（木）
第4回	1月14日（火）	12月12日（木）	1月22日（水）	1月28日（火）	1月8日（水）
第5回	3月12日（木）	1月30日（木）	3月24日（火）	3月19日（木）	3月11日（水）
第6回		2月28日（金）			

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、2月28日以降の協議体は中止としました。

振り返り

- ①やさしいいきいきフェスティバルで生活支援体制整備事業コーナーを設置し、事業の取り組み等について幅広く周知しました。
- ②地域ケア会議を通じて、介護保険事業者との支援ニーズ等の情報共有を図りました。地域包括支援センターや介護支援専門員からのボランティア利用の問い合わせでは、特に傾聴ボランティアへのニーズが多くあります。
- ③市内全5地区で地区協議体が開催され、話し合いが始まり、地域課題に取り組む前段として、「この地区のいいところ」について意見交換を行いました。地区協議体は、徐々に開催頻度、課題抽出のプロセスなどで地区毎の特色が出始めています。各地区の特徴を生かした運営を支援していきます。

